

朝鮮半島情勢と北朝鮮経済

—「社会主義文明国」と経済政策の動向—

ERINA調査研究部
三村光弘

本日の発表内容

- 金正恩体制下の北朝鮮経済社会
 - 「社会主義文明国」建設
- 経済政策の変化と方向性
 - 「漸進的」経済改革
- 現在の情勢と北朝鮮の社会

「社会主義文明国」建設

- 国民の生活レベルを「先進国の都市住民のレベル」に向上させる
- 「社会主義富貴栄華」を国民に実感させる
- 馬息嶺スキー場、美林乗馬クラブ、紋繻プールなど、豪華施設が2013年に完成
- 「経済の実態に合わない」との外部の批判が相次ぐが、国民に変化を実感させることに重点を置いているよう

馬息嶺スキー場



スキーリフト



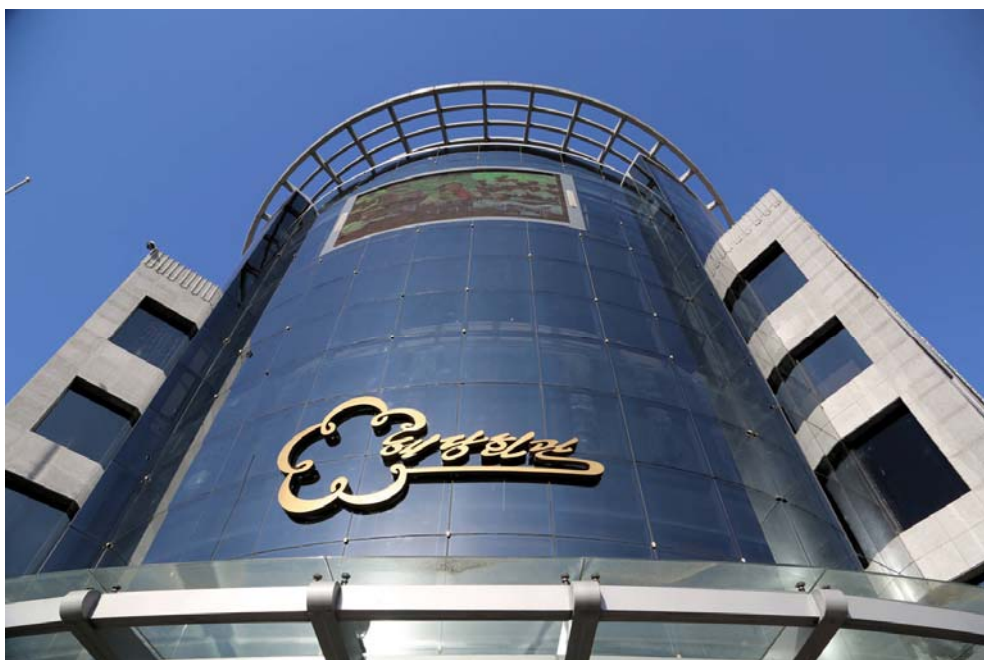
美林乗馬クラブ室内練習場



紋繡プール



へダンファ(ハマナス)館



経済政策の変化と方向性

- 「漸進的」経済改革

- 農業部門

- 農業への科学技術の積極的導入と人材開発
 - 有機農法の拡大→「高利型循環生産体系」
 - 地域にあわせた栽培方法の開発
 - 「種子革命」
 - 「分組管理制」の強化と「圃田担当責任制」の導入
 - 社会主義分配原則と集団主義の強調
 - 現場の権限拡大

経済政策の変化と方向性

- 「漸進的」経済改革

- 工業部門

- 工業生産における「自主化」の進展→「主体鉄」「主体肥料」「主体ビナロン」=石炭化学による石油代替
 - 経済の現代化・情報化→ファクトリー・オートメーション
 - 「国家の統一的指導を強化しつつすべての工場企業所および協同農場で創発性を高く発揚する問題」
 - 全民所有制の下で計画経済を基礎とする条件で現実的な計画の策定や収入指標の現実化
 - 財政管理権、貿易や合弁・合作、価格制定権限付与

現在の情勢と北朝鮮の社会

- 2013年は「建設」に注力
 - その多くは「社会主義文明国」に関連
- 国民生活の向上を重視する政策は継続
- 経済建設と核武力建設の並進路線
 - 経済建設が主だが、「自主性」を守るには武力が必要との考えは社会に浸透
- 全体的な経済状況の向上が見られる一方、貧富格差や都市（特に平壤と地方）間、都市と農村の格差は拡大か

平壤市内に増加するタクシー

